

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第29回『誠実な人間、正直な人間、勇敢な人間～ 勇ましき高尚なる生涯 ～』

東久留米がん哲学外来・カフェ』（東久留米市の施設 スペース 105 に於いて）に赴いた。「和やかで、笑顔溢れる会になりました。すべて、解消されてしまったように感じました。」「個性と多様性…私たちは 動物や自分の身体の臓器に学ばないといけませんね。」「『「生ける魚は水流に逆らいで泳ぎ、死せる魚は水流とともに流れる」は、なかなか難しいですが、ぶれない芯を持って生きたいと思います。』、「東久留米カフェは いつもアットホームで、素敵な方ばかりですね。」「とても勉強になりました。また来月も参加させていただきたいと思っております。」などなどの心温まるメールを頂いた。

今月、東京都豊島区の真言宗のお寺で、「こどもメディカルカフェ」を開催（画像）される看護師さん、また、青梅市の曹洞宗のお寺の住職の奥様2人が「東久留米がん哲学外来・カフェ」に見学に来られた。「お寺という場所を生かして、カフェが開ければと思っております。」との夢を持たれている。日本には教会は 約8000箇所（カトリック、プロテスタントを合わせ）とのことであり、お寺は、曹洞宗だけでも 約15000箇所とのことである。『教会でも、お寺でも、がん哲学外来カフェをはじめよう』のシンポジウムが、企画される予感がある。これは、人類が進む方向であろう！

『東久留米がん哲学外来・カフェ』終了後は、定例の読書会に向かった。今回は、『代表的日本人』（内村鑑三著）の『五「日蓮上人～仏僧」8 人物評』であった。87歳の元看護師の方が、朗読してくださった。「しんそこ誠実な人間、もっとも正直な人間、日本人のなかで、このうえなく勇敢な人間でありました。」「貧しい人たち、しいたげられた人たちに対しては、まことにやさしい人物でありました。」と内村鑑三（1861 - 1930年）は語っている。「日本人として生きる価値観の喪失」が言われる昨今、「危機管理を どう行えば良いのか」が問われる時代において、まさに「勇ましき高尚なる生涯」で、「一隅を照らす」、「一本の木を植えた」人物の学びであろう！

がん哲学外来 こどもメディカルカフェ ✨ みとら



がんのお子さん、ごきょうだい、お父さん、お母さん

そのご家族を支える方のカフェです。

今の悩みや将来の夢を語り合しましょう。

講演会はどなたでもご参加いただけます。

小児がん
体験者のカフェ
オープン記念講演
オンライン同時開催

日時 11月28日(土) 13時30分～15時

会場 金剛院 蓮華堂地下1階 東京都豊島区长崎1-9-2

定員 会場 20名 オンライン(ZOOM) 25名(事前予約)

参加費 無料

樋野興夫先生講演会

※面談あり(2~3名 要事前予約)

金剛院野々部利弘ご住職による「ちょこっとお話し」

折り紙 折り鶴をつくりましょう



お申込みお問合せ

nida@do.dam

FAX 03212233

電話 0365730

光臨まで

感染症防止のために、参加人数を制限させていただきました。

ご参加をご希望の方は、必ず申し込みをお願いいたします。

面談は小児がん体験者の方とご家族優先です。

オンライン参加をご希望の方には、事前に連絡をさせていただきます。

〇会場で参加される方へのお願い

1 参加当日、ご自宅での事前の検温をお願いいたします。

2 ご本人とご家族に風邪症状がある場合、その他体調に不安を覚える場合には、ご参加を見合わせてください。

3 マスクの着用、室内のソーシャルディスタンスをお願いいたします。

<今後の予定>

第2回 12月26日(土) 13時30分～15時30分 オンライン

第3回 1月23日(土) 13時30分～15時30分 オンライン

第4回 2月27日(土) 13時30分～15時30分 金剛院

(新型コロナウイルス感染拡大状況により変更あり)

後援 一般社団法人がん哲学外来

ホームページ <http://www.gantetsugaku.org/>